

在宅酸素療法用

FRP複合容器

FRP Composite Cylinder

旭製作所オリジナル製品です。



在宅酸素療法用

携帯用酸素ボンベ

FRP複合容器

利用者に心地よい
優れた美観！

特殊コスメティック処理により
FRP複合容器らしさを残し
滑らかな美観が利用者に
安心感を与えます。

長時間
安心！

使用時間の延長。
充てん圧力19.6MPaにより
使用時間が約30%以上
アップします。

軽やか！

国内初の
炭素繊維補使用による
軽量化FRP複合容器
です。

容器デリバリーの
合理化

19.6MPa充てんは
容器デリバリーの合理化に
お役に立ちます。



高圧ガス容器専門メーカーであります旭製作所が最新技術、繊維素材を駆使して時代のニーズを先取りした最高の在宅酸素療法用FRP複合容器を提供いたします。旭製作所が、1982年(昭和57年)に日本国内で初めてFRP複合容器の通商産業大臣の特別認可を取得して以来、米国からのFRP複合容器の輸入も含めた長年の豊富な経験に基づき、最新の製造技術・最高の繊維素材をいかし、改めて開発した最新の国産FRP複合容器です。

特長

Merit

カーボン	炭素繊維（カーボンファイバー）巻き、主繊維として、 ガラス繊維に比べより繊維強度が高く比重の小さい炭素繊維を使用し軽量化を図りました。
19.6MPa充てん	充てん圧力が19.6MPaですから、14.7MPa充てん容器に比べ携行酸素量が約30%以上多くなり、ご利用者の方は外出などの際に安心してご利用いただけます。
十分な許容きず深さ（DC、DD）	DC（Depth,Cylindrical/胴部分の許容きず深さ）……0.6mm DD（Depth,Dome/肩部分・底部分の許容きず深さ）……0.4mm 当社製FRP複合容器（医療用酸素用一般複合容器）は、5年ごとの再検査が義務づけられています。再検査時の外観検査の際、繊維強化プラスチック部分についての傷の深さが許容傷深さ規定値を越えていた場合は“不合格”となり“くず化”することが義務づけられています。 【ご参考】 ①これらの“許容傷深さ”は各機種毎により異なり、容器の型式承認取得時に決まります。 ②例えば、“許容傷深さ”が「0」（＝無し）の場合、再検査時に繊維強化プラスチック部分に切り傷等がある場合は再検査“不合格”となり“くず化”しなければなりません。
特殊法定塗装	従来の在宅酸素療法用FRP複合容器にはない、特殊樹脂塗装を施すことによりこれまでの塗装容器とは異なる美観となっております。
安定価格・安定供給	国内生産による安定価格と安定供給体制。 高圧ガス容器専門メーカーの旭製作所が、鋼製高圧ガス容器工場と同じ敷地内(さいたま市岩槻区)のFRP複合容器工場で製造しております。

仕様一覧

Specification list

容器型式	内容積 (liter)	最高充てん 圧力 (MPa)	主繊維	外径 (mm)	容器全長 (mm)	質量 (kg)	DC/DD (mm)
112C	1.1	19.6	Carbon (炭素繊維)	105	230	0.8	0.6/0.4
212C	2.1				360	1.2	
282C	2.8			115	390	1.5	

※使用の前に容器に貼付されている注意書きをよく読んでください。 ※仕様は改良のために予告無く変更されることがあります。

当社は、1982年（昭和57年）に日本国内で初めてFRP複合容器の通商産業大臣特別認可を取得しております。またFRP複合容器の再検査所としての認可を受けて以来、長期にわたる再検査実績・経験を有しております。一般複合容器はじめ、各種高圧ガス容器（鋼製・アルミニウム合金製）の再検査も承ります。



【本社・工場】 〒339-0078 埼玉県さいたま市岩槻区掛7915番地 TEL: 048-758-8071 FAX: 048-758-8077
【大阪営業所】 〒576-0041 大阪府交野市私部西5丁目32番地25号 TEL: 072-892-3321 FAX: 072-892-6004